

図書館だより



第41号 平成28年12月15日

袖ヶ浦市立中央図書館〒299-0262 袖ヶ浦市坂戸市場1393番地2 Tel.0438-63-4646

中央図書館 開館30周年

昭和61年（1986年）11月1日に中央図書館が開館してから30年が経ちました。

いつも図書館に足を運んでくださる利用者の皆さん、図書館で活動するグループサークルの皆さん、ボランティアの皆さん、たくさんの方々に支えられて中央図書館は30周年を迎えることができました。心より感謝いたします。

今回は、中央図書館開館30周年について特集します。



中央図書館 開館30周年を迎えて

中央図書館 館長 簗島 正広

平成28年11月で、中央図書館は30周年を迎えました。

これもひとえに、図書館をあったかく見守ってくださいました多くの利用者の方々のおかげでございます。

今年度、「中央図書館30年のあゆみ」という展示を担当させていただきました。この展示の資料調査を進めるなかで、建設計画書の内容や住民の方々による「図書館を考える会」の活動記録写真を見るたびに、図書館建設までの諸先輩方の苦勞が目に浮かんでまいりました。

その一方で、移動図書館「あおぞら号」の開館式には、当時の吉堀町長、愛称をつけた子どもの嬉しそうな顔の写真もありました。

また、「あおぞら号」に集まる多くの子どもたちや貸出冊数100万冊突破に喜ぶ親子、当時の館長などを見ると、図書館が利用者の日常生活の一部になっていたことをあらためて感じました。

今後も図書館は、利用者一人一人の笑顔を大切に、身近で親しみのある図書館運営や施設の充実に努め、図書館サービスを積極的に推進してまいりますので、より一層のご理解、ご支援をお願いいたします。

移動図書館「あおぞら号」

昭和58年に図書館準備室が設置され、移動図書館「あおぞら号」の運行がはじまりました。2週間に一度、町内の24ステーション（のち26ヶ所）を巡回しました。当時は、1人5冊まで2週間の貸出でした。

昭和61年に待望の中央図書館が開館し、長浦・平川公民館図書室の同時開館に伴い巡回ステーションは13ヶ所になりました。昭和62年には根形公民館図書室が開館しました。平成元年に平岡公民館図書室が開館し、巡回ステーションは6ヶ所に変更されました。

平成9年の長浦おかのうえ図書館開館に伴い、移動図書館「あおぞら号」はその役目を終えて運行廃止となりました。



昭和 58 年 4 月に今の総合教育センターの 1 階に図書館準備室が発足し、移動図書館「あおぞら号」を 2 週間サイクルで市内 24~26 箇所運行しながら昭和 59 年より中央図書館の開館準備が始まりました。何万冊もの図書の選定や発注、続々と納品され山積みになっていく大量の図書をどうやって棚に並べるのか、視聴用に購入するビデオソフトやデッキを VHS にするかベータにするか悩んだり、図書のデータの落としこみが開館前日に終わらず青くなったり等々、今となっては懐かしい思い出です。開館初日はビデオの視聴ブースがあつという間に終日満席になり、カウンター前の貸出待ちの利用者の長蛇の列にひたすらバーコードをなぞるだけでした。長浦おかのうえ図書館が平成 9 年に開館するまで、土日の混雑は大変なものでした。今では、それだけ図書館は必要とされていたのだという感慨を持ちますが、当時は大量の返却本を排架するのも一苦勞で、若い職員がほとんどでしたので体力にまかせて毎日をひたすら乗り切っていたのだと感じます。

※排架（はいか）…返却された本を元の棚に戻すこと。図書館の本は請求記号順に並んでいます。

1986 年（昭和 61 年）の 11 月 1 日（土）に待望の袖ヶ浦町立中央図書館（当時）が開館しました。

その日は長浦公民館図書室と平川公民館図書室も同時にオープンし、午後 1 時の開館前には入口から長蛇の列が伸びて、チャイムと同時に恐る恐る自動ドアの電源を入れ、ゆっくりと館内へ誘導したことを覚えています。

その後は、資料を借りる人、返す人、予約・リクエストをする人、ビデオ視聴を希望する人、利用登録をする人、資料の問い合わせをする人などでカウンター周辺は身動きがとれなくなり、一方、フロアーも資料を探す人、閲覧する人、コピーを申し込む人、館内を散策（？）する人など、時間を追ってまさに黒山の人だかり状態で、職員総出でも対応しきれず非常に賑わっていたことが思い出されます。当時は館内に BGM も流していたのですが、むろん聞ける余裕などありませんでした。

開館当初は 1983 年に策定された“幕張、成田、かずさ”を拠点とした「千葉新産業三角構想」になぞらえ、県内の図書館先進自治体として“浦安、成田、袖ヶ浦”と称されたりもしていました。

図書館準備室（現総合教育センター内）時代は、移動図書館「あおぞら号」の巡回やブックポストへ返却された本の回収、資料の発注、データ入力・確認、排架など開館へ向けて準備を行っていました。

特に今でも印象に残っているのは、書棚が入る前の束の間の広々とした空間と書棚が設置され本を書棚に入れる時の難しさです。これは請求記号（図書の背表紙に貼ってある数字とカタカナのラベル）の順に並べるだけだと一見思いますが、机上の計画と現実との違いをまじまじと痛感させられた作業でした。

最後になりますが、インド図書館学の父と呼ばれる図書館学者のランガナタンが提唱した「図書館学の五法則」の第五法則に“図書館は成長する有機体である。”というのがあります。図書館界ではよく耳にする言葉なのですが、袖ヶ浦市の図書館も 50 年、100 年、それ以上と続いて行き、暮らしの中にもいつまでも図書館があることを願っています。



中央図書館開館 30 周年記念展示

写真と色紙でたどる 中央図書館 30 年のあゆみ

平成 28 年 10 月 1 日（土）から 11 月 29 日（火）まで中央図書館 1 階展示コーナーにて、移動図書館や建設当時の風景、中央図書館貸出 100 万冊突破記念などの懐かしい写真や、「著者を囲む会」で講演された方たちの色紙を展示して、これまでの図書館活動を振り返りました。

市民三学大学講座 中央図書館開館 30 周年記念講演

今、こたますとき ~みすゞさんのまなざし~

平成 28 年 12 月 3 日（土）、市民会館にて、金子みすゞ記念館館長であり童話作家の矢崎節夫氏を講師にお迎えしました。金子みすゞさんの詩から人の心に寄り添うことの大切さを感じる貴重なお話を伺うことができました。



図書館ニュース



◆12月13日（火）から25日（日）は、貸出期間・貸出冊数を拡大します。

年末年始の休館に伴い、12月13日（火）以降、年内の開館中は貸出期間が3週間になります。この間は、貸出冊数の上限も20冊（うちCD・カセットテープは5点）に拡大します。日頃忙しくて読めなかった本を、冬休み・お正月休みの間にじっくり読んでみませんか？



◆映画会ボランティア始動

図書館では所蔵している視聴覚資料を有効活用し、活字資料では味わえない感動が得られるよう、各図書館で映画会を開催しています。秋のトショロ月間の企画映画会で、養成講座を修了した9名のボランティアさんに会場準備、受付・案内、資料の配布、上映中の館内立ち会いなどを行っていただきました。11月からは月1回の定例会を開催して、作品の内容を深めたり、情報交換をしながら、ボランティア企画映画会の準備をしています。

◆秋のトショロ月間が終了しました。

「読書の秋、そうだ図書館へ行こう！」をテーマに秋の読書週間を含んだ平成28年10月22日（土）から11月23日（水・祝）の期間、講座やサークル発表、本のおたのしみ袋など、様々な本と出会う企画を行いました。また、中央図書館では「ミステリー」、長浦・平川図書館では「鉄道」をテーマにした映画会を行いました。



マニアックな本たち（中央） 本のおたのしみ袋（平岡）



講演会「浮世絵と江戸庶民の生活」（中央）



朗読サークル「萌」ミニライブ（中央）



講座「あんしん終活のすすめ」（長浦）



大人のためのおはなし会（長浦）

◆職場体験学習の受け入れをしました。

中央図書館、長浦おかのうえ図書館では、11、12月に2日間の日程で蔵波・長浦・平川中学校の2年生がカウンター業務や書架整理などの図書館の仕事を体験しました。



◆利用者アンケートの集計結果について

7、8月にご協力いただきました利用者アンケート（隔年実施）の集計結果については、現在冊子にまとめている作業中です。完成後は中央図書館の郷土資料コーナーに並びますので、いましばらくお待ちください。皆さまからいただいた主なご意見への回答は全館に掲示しておりますのでご覧ください。



図書館のイメージキャラクター「トショロ」

「トショロ」は本の森にすむ妖精です。平成4年に一般公募の結果、応募総数135点の中から選ばれて決定しました。図書館で発行するおすすめ図書リスト「トショロ通信」、「トショロ月間」などいろいろなところで活躍しています。



「ひよこのかずはかぞえるな」

イングリ・ドーレア/作 エドガー・パーリン・ドーレア/作 瀬田貞二/訳
福音館書店, 1980年 Eド 全館所蔵

めんどりの生んだ卵を売りに出かけたお婆さんは、道すがら楽しい空想をめぐりますが現実…。柔らかなタッチの石版画が魅力的な、30年以上読み継がれているベストセラー絵本です。

「アスリートシェフのチキンプレストレシビ」 鶏むね肉でパワーアップ!

荻野伸也/著 山下圭子/栄養指導・栄養計算 柴田書店, 2016年 596オ 中央一般

知る人ぞ知る本格的なアスリート荻野シェフが、低カロリーで良質のタンパク質を多く含みアスリートやカラダに気を使っている人たちに人気の食材鶏むね肉のおいしくて簡単なレシピを紹介しします。

「ニワトリ 愛を独り占めにした鳥」

遠藤秀紀/著 光文社(光文社新書), 2010年 646エ 長浦一般

ニワトリは食卓に最も身近な動物です。しかし、多くの方は、自分たちの栄養源となるニワトリについて詳しくは知りません。現代の「食」を支える「家畜の最高傑作」について、軽妙な文章でコンパクトに解説した本です。

「ととけっこう よがあげた」

こばやしえみこ/案 ましませつこ/絵

こくま社, 2005年 Eマ 中央・長浦幼児 幼児向けわらべうた絵本です。

にわとりさんが動物の子どもたちを起こして歩きます。



図書館・図書室の休館日(蔵書点検)のお知らせ



★開館時間 中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館 9:30~18:00 (10月~3月)
根形図書室・平岡図書室 9:30~17:00 (通年)



★休館日

12月の休館日	5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)~31日(土)
1月の休館日	1日(日)~4日(水)、16日(月)、23日(月)、30日(月)、31日(火)
2月の休館日	【各館共通】6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、28日(火) 【蔵書点検休館日】 ★中央図書館 2日(木)~8日(水) ★長浦おかのうえ図書館 15日(水)~21日(火) ★平川図書館 10日(金) ★根形公民館図書室 9日(木) ★平岡公民館図書室 14日(火)

●年末年始の休館について

市内の図書館・図書室は、すべて12月26日(月)から1月4日(水)まで休館します。なお、年末年始の休館中は施設のブックポストも閉鎖し、資料の返却ができませんのでご注意ください。

●蔵書点検の休館について

休館中の図書・雑誌の返却については、ブックポストをご利用ください。紙芝居・CDやカセットテープなどの録音資料は、開館している図書館(図書室)に返却してください。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

